

自家培養軟骨移植術について

関節軟骨は、膝の動きを滑らかにしたり、膝にかかる負担をやわらげるクッションの役割を果たしています。軟骨組織には血管がなく、傷を治すための有効な細胞が少ないため、事故やスポーツで軟骨が欠けたり、剥がれてしまうと、自然に治癒するのは難しいと考えられています。

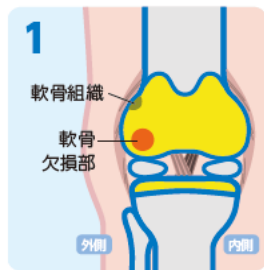
欠けた軟骨の治療法の中で、近年注目をされているのが「自家培養軟骨移植術」です。**外傷性軟骨欠損**または**離断性骨軟骨炎**で欠けた軟骨の面積が**4cm²以上**の患者様は公的保険診療にて治療を受けることができます。

自家培養軟骨移植術はどの病院でも受けられる治療ではありません。医師基準、施設基準を満たした病院でのみ受けられる治療法で、全国でも256施設程(2017年3月1日時点)です。

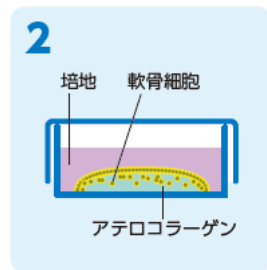
当院ではいち早く自家培養軟骨移植術を行うための施設基準を取得しています。

膝の軟骨は治療できる時代です。原因のわからない膝の痛みでお悩みの方は一度当院までご相談ください。

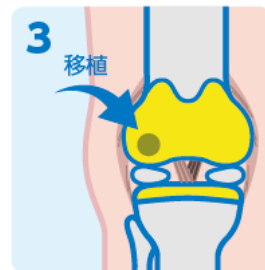
移植術



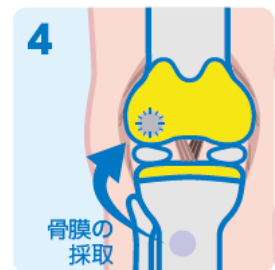
患者さんご自身の軟骨組織を少量採取。
(関節鏡での手術)



アテロコラーゲン(コラーゲンの一種)と混ぜて培養し、「自家培養軟骨」を作製。



自家培養軟骨を軟骨が欠けたところに移植。



移植した自家培養軟骨がはずれないように脛骨から取った「骨膜」でふたをして縫合。

- 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング (J-TEC)
<http://www.jp-te.co.jp/index.html>
- 自家培養軟骨使用認定施設一覧
http://www.jp-te.co.jp/JACC_institutions.html
- 再生医療ナビ
<http://saisei-navi.com/hiza/index.html>



自家培養軟骨「ジャック」